

★★  
勝池レポート      アジア資産運用アドバイザー   勝池和夫  
「インド人の考え方を変えた出来事（2023年8～12月）」  
★★

以下は、インド人により大きな自信、信頼、楽観、希望を与えたようです。

● 月探査機「チャンドラヤーン 3号」の月面着陸成功



● 議員の 33%を女性とする法案が成立。 現在は約 15%が女性



● アジア大会で過去最多の 107 個のメダルを獲得。前大会では 70 個



● **ベンガルール空港第2ターミナルが世界で最も美しい空港に選ばれる**



英国の経済学者ケインズ（写真）は1936年の著作で、「アニマルスピリッツ」という言葉を用いています。日本語では、「血気」とか「野心的な意欲」、「動物的な衝動」などと訳されています。

ケインズは、「市場はアニマルスピリッツによって動く。理由によってではない。」と言っています。そして、アニマルスピリッツが欠如すると、個人は貯蓄を企業は内部留保を増やし、その結果需要と利益が減少し経済は縮小すると指摘しています。近年の日本の様ですね。

インド人の昨今の考え方や物事の見方（マインドセット）の変化は、同時にこの「アニマルスピリッツ」が旺盛になっている現れとも捉えられます。上記のイベントの写真にあるように、インドは科学技術の進歩、女性の社会進出、運動能力の向上、美観の向上などで、大きな躍進を遂げています。そして、それらの出来事がインド人の考え方を換え、アニマルスピリッツを鼓舞しているようです。

この勢いは多分独立100周年の2047年頃までは続くと思われる。その頃のインド経済の立ち位置は、現在とは様変わりになっているでしょう。



お知らせ

好評発売中。インド株投資の前には一読ください。

